

令和7年度事業報告書

公益財団法人宮崎県産業振興機構

目 次

○ 公益財団法人宮崎県産業振興機構の概要	1
○ 評議員会・理事会の開催状況	2
○ 令和7年度事業の概況	3

議案第1号 令和7年度事業報告について

1 公益財団法人宮崎県産業振興機構の概要

(1) 目的

県内中小企業における、経営基盤強化、経営の革新、技術の高度化及び新事業の創出並びに関係組織・機関との連携の推進等に資する事業を行うことにより、本県産業の振興を図るとともに、活力ある地域社会の形成に寄与することを目的とする。

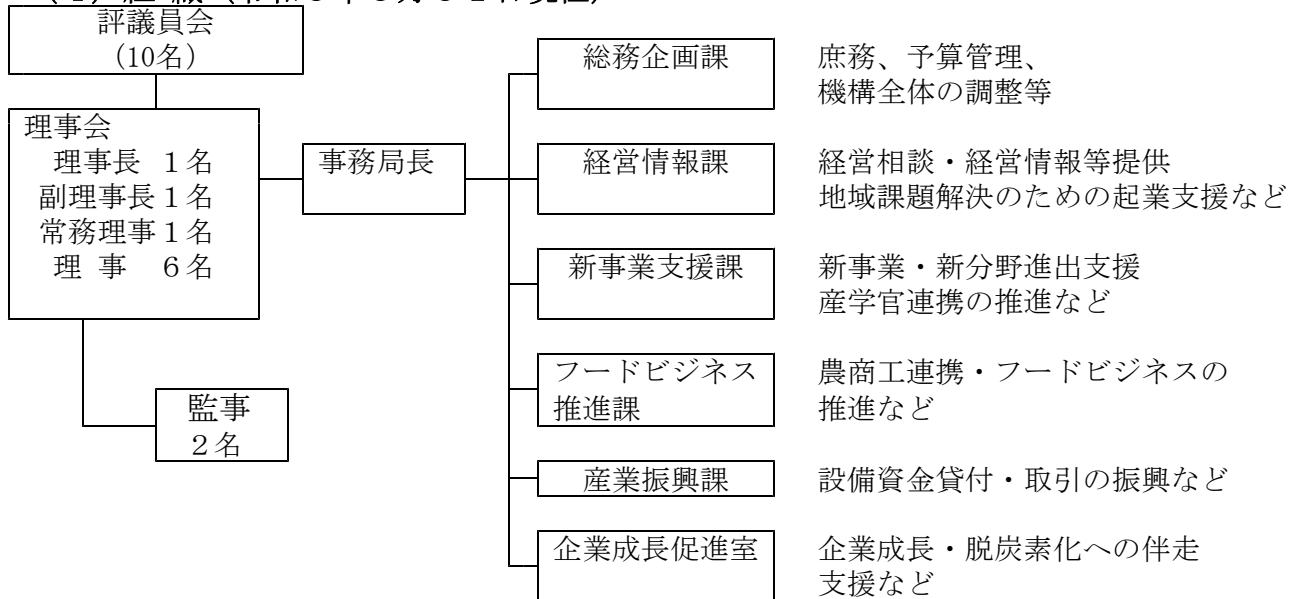
(2) 事業

- ①経営課題等に対する相談、助言に関する事業
- ②新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業
- ③経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業
- ④産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業
- ⑤産業振興に資する人材の育成に関する事業
- ⑥産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

(3) 沿革

平12. 4	財団法人 宮崎県産業支援財団設立（4月1日） （財）宮崎県産業技術情報センター（昭54. 9 設立）と （財）宮崎県中小企業振興公社（昭43. 5 設立）を統合
25. 4	公益財団法人に移行、名称を公益財団法人宮崎県産業振興機構に変更

(4) 組織（令和8年3月31日現在）



常勤役員	3名
職員①（県派遣職員・プロパ-職員・企業派遣職員）	15名
職員②（有期雇用職員・無期雇用職員）	19名
コーディネーター、アドバイザー等（委嘱契約等）	44名
合計	81名

(5) 所在地

宮崎市佐土原町東上那珂16500番地2（宮崎県工業技術センター内）。

なお、フードビジネス推進課（「みやざきフードビジネス相談ステーション」）及び企業成長促進室は宮崎駅前のK I T E Nビル3階に事務室を設置。

2 評議員会・理事会の開催状況

(1) 評議員会の開催状況

第1回評議員会

日 時：令和7年6月25日
場 所：ニューウェルシティ宮崎 2階 雲海
議 事：(1) 令和6年度事業報告について
(2) 令和6年度収支決算について
(3) 評議員の選任について
(4) 役員を選任について

第2回評議員会

日 時：令和8年3月27日
場 所：K I T E Nビル コンベンションホール大会議室
議 事：(1) 評議員会会長の選任について
(2) 評議員会副会長の選任について
(3) 評議員の選任について
(4) 役員を選任について

(2) 理事会の開催状況

第1回理事会

日 時：令和7年6月5日
場 所：ニューウェルシティ宮崎 2階 高千穂
議 事：(1) 令和6年度事業報告について
(2) 令和6年度収支決算について
(3) 令和7年度第1回評議員会の開催について
(4) 公益財団法人宮崎県産業振興機構中期運営計画で策定した数値目標の令和6年度実績について

第2回理事会 書面審議

日 時：令和7年6月25日
議 事：(1) 代表理事及び業務執行理事の選定について

第3回理事会

日 時：令和7年10月27日
場 所：K I T E Nビル コンベンションホール大会議室
議 事：(1) 令和7年度上半期に係る業務報告について

第4回理事会

日 時：令和7年12月23日 書面審議
議 事：(1) 常勤役員の報酬月額について

第5回理事会

日 時：令和8年3月10日
場 所：アートホテル宮崎スカイタワー 3階 浜木綿
議 事：(1) 令和8年度事業計画及び収支予算等について
(2) 令和7年度第2回評議員会の開催について
(3) 業務報告について（令和8年1月末現在）

3 令和7年度事業の概況

第6期中期運営計画（令和5～8年度）の3年目となった令和7年度は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな景気回復基調となった一方で、人手不足や後継者不足に加え、緊迫化する中東情勢による原材料費の高騰やインバウンド需要の低下など、多くの県内事業者は依然として厳しい経営環境に置かれるとともに、県民の生活や経済活動にも大きな影響が及んだ。

こうした中、当機構では、県及び関係団体とともに、県内中小企業への一層の支援策の充実を図るとともに、新事業創出に向けた取組等にも積極的な支援を展開したところである。

「よろず支援拠点事業」では、県内4か所のサテライトオフィスを拠点に、中小企業の経営診断をはじめ、法務、税務、広告戦略、IT等に精通した25名（うち6名は3月採用）のコーディネーターが県内事業者の相談対応に当たった。

令和7年度は、計6,809件の企業相談を受けた。

「環境イノベーション支援事業」では、産業廃棄物の排出抑制とリサイクルの促進を図るため、産学官の共同研究グループ等が取り組む環境リサイクル関連の研究開発を公募により支援した。令和7年度は、ガラスびんリサイクル率向上のための空きびん自動選別システムの開発やマットレスリサイクル装置の実用化に向けた開発など、計7件の支援を行った。

「取引振興事業」では、中小企業の受注確保と取引先の多角化支援を目的として関東・関西・北部九州地区に取引開拓アドバイザーを配置し、積極的な支援活動を展開した。その結果、取引あっせん・紹介実績は、令和7年度は806件となった。

令和7年度から新たにスタートした「女性・若者応援！起業チャレンジ支援事業」では、地域の課題解決を目的に新たに起業する女性や若者又は、女性や若者が地域に定着するような魅力的な地域づくりに取り組む事業者に対し、起業に必要な資金の一部を助成するとともに、宮崎県よろず支援拠点コーディネーターが計画の実現に向けて、伴走支援を行った。

令和7年度は、全体で延べ66件の応募があり、うち11件が採択された。

令和7年度からの新たな取組みである「みやざき地域経済けん引企業等育成事業」では、従業員の所得向上や人的資本経営を目指す企業として県から選定された「付加価値向上チャレンジ企業」9社に対して、中小企業診断士や公認会計士で構成された支援チームの定例訪問による指導・助言、専門家派遣など積極的な伴走支援を実施した。

以上は、当機構が令和7年度に実施した支援の一部である。令和7年度は引き続き、「みやざきの次代を担う企業を支援！」するという第6期中期運営計画の基本理念のもと、機構内の各課・室及び関係機関・団体間の連携を強化するとともに、経営者等との対話を通じて本質的な経営課題を把握し、より実効性のある支援にスピード感を持って取り組むよう心がけながら、県内中小企業・小規模事業者の持続的成長・発展に向け、職員一丸となって取り組んだところである。

令和7年度に実施した各事業の実績については、以下の通りである。

令和7年度事業費総括表

(単位：千円)

		最終予算額(A)	決算額(B)	差引額 (A)-(B)
(1)	経営課題等に対する相談、助言に関する事業	109,603	92,988	16,615
	① みやざきビジネス応援プラザ運営事業	【産業振興】 2,872	2,286	586
	② よろず支援拠点事業	【経営情報】 106,731	90,702	16,029
(2)	新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業	70,145	62,565	7,580
	① 外貨を稼ぐ食品開発・取引拡大推進事業	【フード】 8,500	6,793	1,707
	② 産学官連携促進事業	【新事業支援】 7,147	6,972	175
	③ 地域産業技術研究開発支援事業	【新事業支援】 12,137	10,851	1,286
	④ 環境イノベーション支援事業	【新事業支援】 23,686	21,261	2,425
	⑤ 知財等活用ビジネスプロデュース事業	【新事業支援】 15,000	13,914	1,086
	⑥ 中小企業特許出願等助成事業	【新事業支援】 3,675	2,774	901
(3)	経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業	148,794	40,145	108,649
	① 取引振興事業	【産業振興】 18,537	18,387	150
	② みやざき小規模企業者等設備導入資金貸付事業	【産業振興】 130,257	21,758	108,499
(4)	産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業	4,491	3,676	815
	① 情報化支援活動事業	【総務企画】 4,491	3,676	815
(5)	産業振興に資する人材の育成に関する事業	36,730	6,138	30,592
	① 人材育成事業	【産業振興】 【新事業支援】 36,730	6,138	30,592
(6)	産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業	162,467	155,527	6,940
	① 女性・若者応援！起業チャレンジ支援事業	【経営情報】 25,850	23,920	1,930
	② 東九州メディカルバレー構想拠点強化事業	【新事業支援】 5,500	4,917	583
	③ フードビジネス支援体制強化事業	【フード】 60,332	59,760	572
	④ 地域資源活用・地域連携サポート事業	【フード】 5,429	5,429	0
	⑤ みやざきLFP強化支援事業	【フード】 10,460	10,000	460
	⑥ みやざき地域経済けん引企業等育成事業	【企業成長】 36,553	34,608	1,945
	⑦ 脱炭素社会に向けたモデル企業育成事業	【企業成長】 15,343	14,104	1,239
	⑧ 脱炭素化技術検証支援事業	【企業成長】 3,000	2,789	211
	小計(1~6)	532,230	361,039	171,191
(7)	その他	133,616	128,524	5,092
	その他事業活動支出	133,616	128,524	5,092
	合計	665,846	489,563	176,283

(1) 経営課題等に対する相談、助言に関する事業

①みやぎビジネス応援プラザ運営事業（事業費：2,286,298円 機構）

創業意欲があり優れた事業計画を持つ個人起業家やベンチャー企業を支援・育成するため、インキュベーションルームを低価格で提供するとともに、よろず支援拠点と連携して経営に関する指導・助言を行い、一貫した創業支援を行った。

入居者数	3社	(令和8年3月末現在)
------	----	-------------

②よろず支援拠点事業（事業費：90,701,832円 国）

中小企業や小規模事業者の起業・成長・安定の各段階のニーズに応じたきめ細やかな経営支援を行うため、中小企業診断士、弁護士、税理士のほか広告戦略やIT等に精通した様々な分野のコーディネーターが事業者からの多様な相談に応じた。

これらの相談対応に当たっては、県内4箇所(宮崎市、都城市、延岡市、日南市)に設置したサテライト等を活用するとともに、金融機関等と連携した出張相談会を開催するなど、相談者の利便性向上に努めた。

特に、宮崎市においては、K I T E Nビル1階に「宮崎駅前サテライト」を新たに開設し、同ビル内に入居する多くの支援機関とも緊密に連携しながら、相談者への更なる支援体制の強化を図った。

また、テーマ毎のセミナーを開催し、多くの事業者の課題解決に向けて支援した。

コーディネーター25名(令和8年3月末日現在)

チーフコーディネーター	糸山 秀彦	税理士	
サブチーフコーディネーター	長友 慶徳	弁護士、弁理士	
	柳本 明子	IT企業代表	
	下松 孝裕	中小企業診断士	
コーディネーター	新田 裕章	中小企業診断士	
	竹崎 大祐	中小企業診断士	
	高橋 忠伸	中小企業診断士	
	江藤 裕一	シニア・インキュベーションマネージャー	
	鬼東ひろみ	デザイン企業代表	
	森 祐一	HACCP総合支援マネージャー	
	宮田 理恵	経営コンサルティング企業代表	
	堀川 寿美恵	社会保険労務士	
	島中 星輝	デザイン企業代表	
	佐藤健太郎	中小企業診断士	
	松田 敬一	広告制作会社代表	
	畠山 容子	広告事務所代表	
	太田 七菜子	動画制作・広報支援事業代表	
	高島 恒佑	中小企業診断士	
	松田 知子	販売戦略他コンサルティング事業代表	
	※	小池 達哉	社会保険労務士
	※	伊東 和信	ITコンサルティング事業代表
※	年森 智亮	経営コンサルティング事業代表	
※	井上 大輔	AI・ITコンサルティング事業代表	
※	長尾 義	各種ドローン導入支援企業代表	
※	日高 亜紗	中小企業診断士	

※印のコーディネーターは令和8年3月1日付け採用

(企業相談実績)

業種	延べ相談件数
サービス業	2,686件
卸売業、小売業	963件
宿泊業、飲食業	832件
製造業	574件
医療・福祉	384件
建設業	213件
農業・漁業・林業	355件
その他	802件
合計	6,809件

課題	延べ相談件数
経営知識	3,830件
広報戦略・広告デザイン	2,892件
事業計画策定	2,163件
IT活用	1,891件
市場設定・調査	1,908件
商品開発・デザイン	1,263件
販路提案	1,679件
資金繰り	1,241件
施策活用	1,096件
現場改善・生産性向上	896件
雇用・労務	399件
事業連携	128件
その他	1,205件
合計	20,591件

※ 相談件数1件につき、複数の課題あり

(出張相談会開催状況)

開催回数	相談者数	開催場所等(主催者)
118回	651名	日向市中央公民館(日向市) ニューウェルシティ宮崎(宮崎県商工会連合会) KITTO小林(同上) 川南町商工会(同上) 高千穂町商工会(同上) 都城市未来創造ステーション(同上) 門川町商工会(同上) 南部信用組合(南部信用組合) 串間商工会議所(串間商工会議所) 宮崎駅前サテライト(宮崎県よろず支援拠点) 延岡コワーキングスペース(同上) 都城市未来創造ステーション(都城市) えびの市起業支援センター(えびの市他)ほか

(セミナー開催状況)

開催回数	参加者数	開催テーマ
81回	1,455名	・創業に関すること ・マーケティング、販売戦略等に関すること ・人材育成、人材確保に関すること ・AI活用に関すること ・税務に関することなど

(その他)

○みやざき女性起業家育成プロジェクトN-ext 事業報告会

開催日：令和7年12月10日(水)

会場：宮崎県よろず支援拠点宮崎駅前サテライト

内容：令和5年度に優秀賞に選定された3名による事業報告会を実施。

特に優秀な事業計画を発表した報告者1名に対して、事業拡大のための補助金(50万円)を交付した。

○宮崎県よろず支援拠点地域支援機関連携フォーラム

開催日：令和7年10月17日（木）

会場：K I T E N 8階コンベンションホール

参加者：県内の金融機関等の支援機関ほか

参加人数：57名

内容：支援事例発表、講演「伴走支援のあり方」、「生産性向上」

(2) 新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業

①外貨を稼ぐ食品開発・取引拡大推進事業（事業費：6,792,892円 県）

県内の食品製造事業者等が行う商品開発を促進し、商品の磨き上げによる県内外への取引拡大を図るため、ECサイトでのテストマーケティングや首都圏バイヤー等との求評会を開催するとともに、商品の新規開発・ブラッシュアップをテーマにした補助金を交付した。

ア 外貨獲得推進事業

○テストマーケティング

- ・ECサイトに特設ページを設け、「宮崎てげうまショップ」を開催（6者）
実施期間：11月1日（土）～12月23日（火）

- ・セミナーの開催

開催日：9月19日（金）【4者】及び9月30日（火）【6者】の2日間

○求評会 3者参加

- ・事前ヒアリング面談・試食会 9月18日（木）
- ・求評会フィードバック・個別面談 10月17日（金）、10月23日（木）

イ 外貨を稼ぐ食品開発推進事業

商品の新規開発やブラッシュアップ(改良)をテーマにした補助金を10社に交付した。

- ・公募期間：5月12日（月）～6月4日（水）
- ・応募件数：17件
- ・採択件数：11件（1社は採択後事業廃止）
- ・補助額：4,334,000円

	事業者名	補助額(千円)	事業計画名
1	(株)ひむか農園	1,000	海外展開を企図した加工品パッケージデザイン改良と競合が多い加工品のレシピ改良
2	(株)高千穂むらたび	350	米粉ビスコッティのギフト商品化による販路拡大事業
3	キムチのシオン	238	地域資源を活用した本格韓国調味料～簡単エスニック料理の提案～
4	(株)mahana	236	県産・自社搾汁果汁を使用した新スイーツ商品の開発
5	ゆずファクトリー	605	青柚子果汁を使った市販用アイスクリーム・ソルベの開発
6	キムラ漬物宮崎工業(株)	115	原料難の中で新商品開発と新たなブランド化事業
7	(株)一真	414	肉醬3種の味比べセット開発による新市場開拓と販売促進事業
8	(株)アシェンテ	366	宮崎県産資源を用いたシュトレンのブラッシュアップ
9	AGRI ST(株)	404	フルパピビールでつなぐ、地域と福祉の共創プロジェクト
10	(有)オフィスK.S.A	606	宮崎県産米粉たい焼きを全国展開するためのパッケージデザイン開発及び商品PR資材

②産学官連携促進事業（事業費：6,972,123円 県）

公募型研究開発プロジェクトへの提案内容の企画・設計を行うコーディネーターを配置することにより、優れた研究成果の事業化を支援した。

③地域産業技術研究開発支援事業（事業費：10,850,941円 県）

工業技術分野における新たな技術の開発等による本県産業の振興を図るため、産学官の共同研究グループ等が行う新製品や新技術の研究開発を支援した。

	テーマ	管理法人	共同研究者
1	睡眠改善効果の機能性表示に対応した付加価値の高いブルーベリー葉発酵茶の開発 【R&D】5年度採択	(株) SUNAO製薬	大妻女子大学
2	核磁気共鳴 (NMR) 装置による宮崎県産農産物・加工物の産地判別の技術研究 【F/S】6年度採択	(株) 食品検査・研究機構	九州医療科学大学
3	機能性成分s-メチルシステインスルホキシド (SMCS) を多く含むアブラナ科野菜加工品の作出と現場に即したSMCS簡易分析法の開発 【R&D】6年度採択	宮崎県農協果汁(株)	宮崎県総合農業試験場
4	非加熱式分離装置の開発 【R&D】6年度採択	(株) ウィズダムプラス	都城工業高等専門学校
5	宮崎県産農作物・薬用作物の品質評価技術開発の可能性調査研究 【F/S】7年度採択	(株) 食品検査・研究機構	九州医療科学大学 都城工業高等専門学校
6	ビニールハウス内農薬散布のための自律走行型ローバーの実現可能性調査 【F/S】7年度採択	(株) テクノライフ	—
7	非破壊型植物用水分計の開発 【R&D】7年度採択	(株) エフオーテクニカ	宮崎大学

④環境イノベーション支援事業（事業費：21,261,435円 県）

i 産業廃棄物の排出抑制やリサイクルを促進するため、産学官が連携した共同研究グループや県内企業が行う環境リサイクル関連の新事業創出に対して支援を行った。

	テーマ	管理法人	共同研究者
1	解体系廃石膏ボード由来石膏粉利用カルシウム系肥料製造のための基礎実験調査 【基礎実験型F/S】6年度採択	環境土壌クリニック	宮崎大学 (株) 塩川産業
2	焼酎蒸留粕と糖廃液を原料としたエタノール製造技術の開発によるエタノール販売実用化 【R&D】6年度採択	(株) 穴吹ハウジングサービス	宮崎大学
3	マットレスリサイクル装置の実用化に向けた開発 【R&D】6年度採択	九州北清 (株)	都城工業高等専門学校
4	廃プラスチック排出削減のためのペットボトルキャップを活用したリサイクル化可能性調査 【F/S】7年度採択	(株) MEISEI	—
5	チョウザメの食品加工廃棄物 (内臓) を原料とした魚醤の製造に関する実証実験 【基礎実験型F/S】7年度採択	フェニックスキャビア (株)	南九州大学
6	ペット爬虫類・小動物栄養補給を目的としたフリーズドライコオロギの開発 【R&D】7年度採択	(株) 宮防	都城工業高等専門学校
7	ガラスびんリサイクル率向上のための空	(有) 南久	宮崎県工業技術セン

きびん自動選別システムの開発 【R&D】7年度採択	ター
------------------------------	----

- ii 環境リサイクル関連事業で支援した研究開発成果の事業化や製品の販売促進を図るため、企業の展示会等への出展支援を行った。

	テーマ	事業者名
1	「フードスタイルジャパン2025」、「スーパーマーケット・トレードショー2026」、「FOODEX2026」への出展	(株)MOMIKI
2	「中小企業 新ものづくり・新サービス展」への出展	吉玉精鍍(株)

- iii 環境リサイクル関連の研究開発テーマの掘り起こしを図るため、県内企業の潜在的開発ニーズや大学・公設試・企業の研究・技術ニーズの調査等を行った。

【研究開発等ニーズ調査】

- ・調査企業数：県内企業576社（回答数81社 回答率14.1%）
- ・成果：研究開発テーマ候補5件を掘り起こした。

⑤知財等活用ビジネスプロデュース事業（事業費：13,913,699円 県）

事業戦略の策定・実現に係るスキルを持つビジネスプロデューサーと連携し、県内中小企業における知的財産及び無形資産を活用した事業創出や、新たな販路・取引先の開拓等を伴走支援するとともに、担当支援機関における支援ノウハウの蓄積を図った。

（支援概要）

支援企業	担当支援機関	事業及び支援の方向性
坂本園（五ヶ瀬町）	五ヶ瀬町商工会	製茶業（釜炒茶等）、高価格帯商品の販路拡大
金崎製油（小林市野尻町）	野尻町商工会	食用油脂製造（ゴマ油等）、良質な製品製造及び販路開拓
(株)高橋水産（延岡市）	延岡信用金庫	水産加工業（干物等）、新商品（レトルト干物）の販路拡大
川崎クラフト（株）（小林市）	小林商工会議所	木工業（木製品）、新商品の開発と他業種との連携推進
(株)ウィズダムプラス（宮崎市）	宮崎商工会議所	電子機器開発製造（噴霧装置）、農業分野等の市場開拓

⑥中小企業特許出願等助成事業（事業費：2,773,830円 国 機構）

ア 知的財産を活用した中小企業の振興を図るため、中小企業の特許出願、意匠出願に要する経費の助成を行った。

助成件数	助成金額
12件	1,584,000円

イ 中小企業等が外国での事業展開等に活用する産業財産権（特許、実用新案、意匠商標、冒認対策の出願）に要する経費の助成を行った。

助成件数	助成金額
1件	1,082,000円

(3) 経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業

①取引振興事業（事業費：18,387,000円 県 機構）

下請取引等に関する企業情報、技術動向等を広く収集・提供するとともに、商談会の開催、展示会への出展支援により、中小企業の受注の確保と取引先の多角化を支援した。

(登録企業の状況)

区 分	令和7年度登録	令和7年度抹消	累計登録企業数
発注企業	—		221企業
受注企業	5企業	1企業	432企業
計	5企業	1企業	653企業

(事業実績)

ア 受発注情報等収集提供事業

区 分	件 数
取引あっせん・紹介件数	806件
指導・相談件数	112件
内 取引あっせん	85件
内 経営関係	10件
内 技術関係	1件
内 その他	16件
県外企業訪問件数	374件
成立件数(過年度含む)	51件
成立金額(〃)	173,883千円

イ 商談会等開催事業

名称・開催日	会 場	参加企業数	備考
製造技術マッチングフェア(北九州市) 令和7年7月2日～3日	西日本総合展示場 (北九州市)	発注企業 47社 受注企業 16社 商談件数 81件	九州7県合同の対面、Web商談会
ものづくり取引拡大商談会(福岡) 令和7年10月16日	TKPカーテンシティ天神スカイホール (福岡市)	発注企業 9社 受注企業 23社 商談件数 58社	機構主催の商談会
ものづくり取引拡大商談会(宮崎) 令和7年11月20日～21日	MRTmicc (宮崎市)	発注企業 23社 受注企業 58社 商談件数 258件	機構主催の商談会

ウ 展示会等出展支援事業

名称・開催日	会 場	参加企業数	備考
中小企業テクノフェア 令和7年7月2日～4日	西日本総合展示場(北九州市)	県内企業 6社	宮崎県ブースに県内企業と出展(製造技術マッチングフェアと併催)
機械要素技術展(大阪) 令和7年10月1日～3日	インテックス大阪(大阪市)	県内企業 5社	宮崎県ブースに県内企業と出展

②みやざき小規模企業者等設備導入資金貸付事業(事業費:21,758,416円 県)

小規模企業者の経営基盤強化に必要な設備の導入に対する貸付を行い、企業の経営基盤の強化を支援した。

貸付実績

業 種 別	令和7年度 資金貸付実績		(参考) 令和6年度 資金貸付実績	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
農林水産業	0	0	0	0
建設業	2	10,865	3	19,220
製造業	3	6,145	3	21,130
その他	0	0	0	0
合 計	5	17,010	6	40,350

(4) 産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業

①情報化支援活動事業（事業費：3,676,266円 県）

機構ホームページの運用や当機構の事業等を紹介するパンフレットの作成・頒布、月2回のメールマガジンの配信など、県内企業への情報提供を積極的に行った。

パンフレットの発行	発行部数 2,000部	
メールマガジンの配信	配信回数 24回	登録読者数 1,535者(R8.3.31)

(5) 産業振興に資する人材の育成に関する事業

①人材育成事業（事業費：6,138,470円 機構 全国協会）

中小企業の経営力・技術力の向上や企業の将来的成長につながる経営者・技術者等の人材育成を図るため、研修等に要する経費を助成した。

ア 企業経営力アップ人材育成支援事業

中小企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、県内の中小企業の経営者や従業員が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合の経費の一部を助成した。

（助成先）

39社

（助成実績）

研修等の内容	延べ企業数	延べ参加者数
経営管理関係	14件	88人
技術力向上関係	19件	398人
その他	9件	301人
合計	42件	787人

イ 日本のひなた宮崎人材育成事業

県内中小・中堅企業等の従業員等が単独又は産学官連携で取り組む、地域資源等を活用したものづくり技術、新サービスの開発、デジタル技術に係る研究開発、地域課題解決に向けたものづくり技術等を活用した研究開発等について支援した。

	テーマ	事業者	支援分野
1	AIと特許技術を活用した中山間地域の英語教材の開発	(株)教育情報サービス	地域課題解決
2	田野・清武地域における地域資源を活用した新たな着地型観光商品の開発	宮崎カカオ	〃
3	オビスギ由来油脂に含まれる有用成分の分離技術の確立	(株)SUNAO製菓	〃
4	未利用資源からの新商品開発に向けた研究	(株)南九州医理化	〃
5	閉鎖循環式養殖とエコフィードを組み合わせた陸上養殖用飼料の開発	(株)宮崎ケーブルソリューション	〃
6	自然災害に強い牡蠣養殖バスケットの開発と付着生物抑制による持続可能な養殖技術の確立	(株)ひとしお	〃
7	キャラメルシュガー大量生産の国内製造技術の開発	(株)ハニー	ものづくり技術
8	脱化石燃料を実現化する「トルネード燃焼装置」の開発	(株)修電舎	〃
9	高機能電子基板における表面処理技術の高度化と電気特性向上に資する	吉玉製鍍(株)	〃

	基盤技術の確立		
10	茶の機能性成分把握のニーズに対応した分析技術の開発	(一社) 食の安全分析センター	〃

(6) 産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

①女性・若者応援！起業チャレンジ支援事業（事業費：23,919,648円 県）

地域課題解決のために起業する女性や35歳未満の若者を支援する「ビジネスプランコンテスト開催事業」及び女性・若者にとって魅力的な地域づくりに取り組む事業者を支援する「地域魅力度アップによる女性・若者の県内定着応援事業」の2事業を新たに実施した。

2事業とも、宮崎県よろず支援拠点のコーディネーターによるビジネスプランのブラッシュアップを応募要件とし、採択された事業者に対しては、事業計画の実現に向けてコーディネーターが引き続き伴走支援を実施した。

ア ビジネスプランコンテスト開催事業

補助件数：5件 補助金額：9,406,000円

	申請者名、法人名・屋号	事業内容	開業届出日等
1	那須 椋太 カタラウスタンド	自然キャンプ×DIY開拓拠点の創出とWeb3Dマップを活用したオンラインキャンプシステムの導入	R7年 10月3日
2	鈴木 紀子 合同会社Laplus	透析患者に特化した訪問看護ステーション	R7年 10月10日
3	柳澤 佳代 KAYOの海岸物語	アスリートミールの開発、スポーツチーム等へのケータリング	R8年 1月6日
4	内田 真央 株式会社ROIL	ルーキー・オブ・ザ・イヤーinLOCAL宮崎県大会の開催	R7年 6月16日
5	高木 明日香 いちょう漢方薬局	漢方相談、漢方・サプリメントを提供する漢方薬局	R7年 5月27日

イ 地域魅力度アップによる女性・若者の県内定着応援事業

補助件数：6件 補助金額：4,517,000円

	申請者名、法人名・屋号	事業内容	開業届出日等
1	林 佳子 Kaco photographer	一人の女性とその御家族のメモリーを最高に残す助産師フォトグラファー	R7年 5月14日
2	永野 麻実 Runana	健康志向やアレルギー対応の米粉パンの製造・販売	R8年 1月8日
3	安部 亜由美 Aseed	地域に根ざしたIT・プログラミング教室	R7年 6月27日
4	松崎 嘉代子 合同会社Kid'sキララ	一人一人の能力に寄り添い、自立を支援する障がい児のための放課後等デイサービス	R7年 4月9日
5	杉野 美穂 yogaspacekuu	妊娠中、育児中のヨガ・トレーニング	R7年 10月6日
6	橋本 緑 合同会社工房兼基	地域で無駄になってしまった植物からアロマオイルを蒸留し、地域洗剤を製造	R7年 4月11日

②東九州メディカルバレー構想拠点強化事業（事業費：4,916,554円 県）

東九州メディカルバレー構想が掲げる4つの拠点づくりのうち、「医療機器産業の拠点づくり」を推進するため、県内中小企業の医療機器産業への新規参入や取引拡大、県内大学等との共同による医療機器開発等を段階的に支援できるよう2名のコーディネーターと1名のアドバイザーを配置した。

(コーディネーター等の業務)

名称	業務内容
参入支援・開発支援コーディネーター	大学や臨床現場での情報収集、県内企業への情報提供及び助言等
販路開拓コーディネーター	マーケットニーズの情報収集、県内企業への情報提供及びマッチング支援等
薬事戦略アドバイザー	医療機器の開発に係る情報収集、県内企業への情報提供及び助言・指導等

③フードビジネス支援体制強化事業（事業費：59,759,669円 県）

フードビジネスに取り組む事業者等の様々な相談に対応するために、県が設置している「みやざきフードビジネス相談ステーション」を管理・運営し、配置するコーディネーターを中心に、関係機関と連携を図りながら、相談者の課題解決に向けた助言や指導などの伴走支援に取り組んだ。相談は、面談のほかオンラインを活用するなど、ステーションの利用促進を図った。

ア 担当コーディネーター等（25名）

コーディネーター	藤藪 志保	商品開発、レシピ、食品表示
	森 祐一	商品開発、販路開拓
	諏訪園 哲哉	商品開発、経営管理、品質管理
	大角 恭代	商品開発、食品表示
	久松 愛	商品開発、衛生管理
	瀬口 彩子	商品開発、営業企画
	柚木崎 千鶴子	食品加工技術、研究開発
アドバイザー	奥山 真智子	品質管理、HACCP
	上野 晃治	事業計画、販売促進、マーケティング
	川越 おもと	品質管理、HACCP
	小松 弘幸	品質管理、HACCP
	小治 健太郎	研究開発、食品の機能性分野
	安藤 孝	食品の機能性分野、化学分析
	湯浅 まき子	食品表示
	中治 十成	品質管理、HACCP
	尾崎 恒夫	生産設備、食品工場設計
	上田 泰弘	海外展開支援
	頼 進文	その他（調理）
	長田 隆	品質管理、国際規格（HACCP）
	吉元 誠	商品開発、研究開発
	関屋 千草	販売促進、マーケティング
	古市 佳代	研究開発、品質管理
	河上 仁士	商品開発、広告宣伝
	岡田 光	販路開拓、販売促進
	山下 理夫	経営戦略、事業計画

イ 相談実績

相談区分	相談件数
販路拡大	442
商品開発	417
食品表示	302
国、自治体等の助成金	141
マッチング	139

衛生管理	128
事業計画	93
品質管理	78
情報収集・調査	68
その他	289
計	2,097

ウ 相談対応以外の活動内容

- ・ホームページ、フェイスブックによる情報提供
県が開設する「みやざきフードビジネス相談ステーション」ホームページを管理・運営し、フードビジネスに取り組む事業者等に対して、ステーションの支援内容や活動を分かりやすく紹介した。また、同ステーションのフェイスブックのアカウントを作成し、随時更新しながら情報提供を行った。
- ・連絡会議等の開催
フードビジネスに取り組む事業者への効果的な支援を図るため、関係機関の担当者等が意見交換を行う連絡会議を月1回開催し、情報共有及び事業の連携強化を図った。
- ・ステーションニュースの発行
フードビジネス相談ステーションのPRを積極的に図っていくため支援事例等を中心に年6回発行し、関係機関へ幅広く周知を図った。
- ・食品表示相談会の開催
食品表示の適正な作成に取り組む企業を対象に相談会を月1回開催し、17事業者18件の相談に対応した。
- ・宮崎フードイノベーションクラブの活動
講演やグループワークを開催することにより、品質管理担当者相互の情報交換、自社の持つ課題等の再確認や知識の向上を図った。
(会員：25事業者、オブザーバー：5機関)
- ・セミナーの開催
事業者のスケールアップ等に向けたセミナーを5回開催し、延べ175名が受講した。

④地域資源活用・地域連携サポート事業（事業費：5,429,000円 県）

6次産業化など、本県の豊富な農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用し、付加価値の創出に取り組む事業者に対して、専門家（プランナー）を派遣し、経営改善に必要となる伴走支援を実施した。

【派遣実績】

13事業者に対し、延べ143回

【支援対象事業者一覧】

	事業者名	所在地	主な支援内容
1	外浦漁業協同組合	日南市	水中観光船事業、レストランの運営やメニュー開発などの支援
2	莓大野屋	西都市	カフェの運営や経営改善、商品開発などの支援
3	興洋開発(株)	諸塚村	持続可能な養鶏・食品事業体制の構築や、販路開拓、ブランディングなどの支援
4	さくちゃん農園	日南市	農作業管理の標準化、柑橘加工品等のブランディングや販路拡大などの支援
5	(株)ひむか農園	日向市	経営戦略策定、ブランディング、販路開拓、業務効率化などの支援
6	(株)大田ぶどう園	小林市	ワイナリー新設に伴う事業計画や総合化事業計画策定の支援
7	(株)モンド	日南市	経営計画策定、商品開発、販路拡大、加工施設の衛生管理などの支援

8	かいファーム	日向市	経営計画策定、販路拡大、マーケティング等の支援
9	五ヶ瀬ワイナリー(株)	五ヶ瀬町	事業方針や事業計画策定の支援
10	徳丸農園	高鍋町	事業計画策定、米粉加工品の販路拡大などの支援
11	(有)浅野水産	日南市	加工品開発や販路開拓支援、加工場運営を含む全体の事業計画策定の支援
12	アリマン乳業(有)	川南町	事業計画策定、ホエイのマーケティングや販路拡大などの支援
13	POPONIKO (ぼぼにこ)	綾町	事業計画策定、カフェの集客に向けた支援及び加工品のマーケティングなどの支援

⑤みやざきローカルフードプロジェクト（LFP）強化支援事業

（事業費：10,000,000円 県）

地域の農林水産物が地域産業の中で有効活用されるよう、地域の食品産業を中心とした多様な関係者が参画するプラットフォームを形成し、それぞれの持つ経営資源をプラットフォームに結集し、社会的課題解決と経済的利益の両立を目指した自発的かつ持続的な新たなビジネスの創出を図った。

（活動内容）

- ・みやざきLFPプラットフォームの運営 会員数312事業者
- ・研修会及びワークショップの開催（2回）
- ・「プロジェクトの卵」発表会の開催
- ・中間報告会及び成果報告会の開催
- ・プロジェクト支援（6プロジェクト）

	プロジェクト名 (事業主体)	事業概要
1	山椒で「食農海外ツナガル高岡」 (高岡フードビレッジ協議会)	宮崎市高岡地区で利活用されていない山椒の商品開発 ・山椒葉のジェノベーゼソース ・輸出に耐えうる山椒の実の保存方法の検証
2	国富メンマ特産品プロジェクト (国富町メンマ事業化推進協議会)	～竹害から竹財へ。竹資源を活用した地域再生型特産品の開発～ 国富町の放置竹林を活用した「国富メンマ」の事業化 ・国富町内及び周辺企業による国産メンマ
3	宮崎農産物を活用した新ヴィーガン アイスクリームプロジェクト (C&G Miyazaki 合同会社)	インバウンド対応や輸出を見据えたプラントベース・ヴィーガンアイスの開発 ・本県の農産物を活用したヴィーガンアイス
4	KIJO ビオフードプロジェクト (木城オーガニックタウン推進協議会)	～木城町で育った子供たちが考える魅力的な地域資源を活用したまちづくりの推進～ 南九ブラックボールかぼちゃを軸にした商品開発 ・地元学生による商品化アイデアを実現し、商品開発 ・有機栽培の実証
5	日向夏供給サプライチェーン構築プロジェクト (日向夏の未来協議会)	日向夏等の供給サプライチェーンの構築 ・日向夏や柚子等の隔年結果による収量変動を踏まえた、加工原料の安定供給体制の構築 ・加工残渣の有効利用による環境負荷低減 ・炭素排出量の数値化の検討
6	おいしく詰めて、地域を元気に！ エシカルなソーセージでつなぐ環境 づくりプロジェクト (エシカルソーセージ協議会)	本県の課題をソーセージに入れた、新たなアップサイクルのエシカルな無添加ソーセージの開発 ・未利用資源等の課題解決に向けた無添加ソーセージ

⑥みやざき地域経済けん引企業等育成事業（事業費：34,607,568円 県）

ア みやざき地域経済けん引企業育成事業

従業員所得向上や人的資本経営を目指している企業として県から選定された「付加価値向上チャレンジ企業」に対して、支援計画を基にプロジェクトマネージャーの訪問による相談対応のほか、外部専門家派遣などの伴走支援を実施した。

【付加価値向上チャレンジ企業一覧】

	企業名	所在地		企業名	所在地
1	(株)井崎製作所	新富町	6	(株)SUNAO製菓	宮崎市
2	(株)英楽	門川町	7	(株)教育情報サービス	宮崎市
3	(有)四位農園	小林市	8	創宮(株)	都城市
4	(株)塩川産業	宮崎市	9	KIGURUMI.BIZ(株)	宮崎市
5	ヤマエ食品工業(株)	都城市			

※1～6が7月、7～9が12月選定

(企業訪問等数)

9社に対して延べ125回

(外部専門家の派遣) 3社に対して延べ16回

	企業名	内容	派遣回数
1	(株)英楽	新工場建設図面に係る指導・助言(生産設備)	2回/2回計画
		新工場建設図面に係る指導・助言(ISO対応)	2回/2回計画
2	(有)四位農園	輸出・海外市場に係る指導・助言	5回/5回計画
		人事制度構築全般に係る指導・助言	2回/2回計画
3	(株)塩川産業	人事評価、給与制度等構築に係る指導・助言	5回/5回計画

イ モノづくりを支える人材育成事業

配置する産業人材育成コーディネーターが、企業の人材育成に関する課題をヒアリングし、階層別に課題抽出や教育課題の設定を行うなど、人材育成計画策定等に取り組む企業の伴走支援を実施した。

(支援企業数)

6社(4社計画策定・2社継続支援)

	企業名	所在地	支援内容
1	ミツワハガネ(株)	延岡市	人材育成計画策定
2	(株)井崎製作所	新富町	人材育成計画策定・専門家派遣(人材育成研修)
3	(株)塩川産業	宮崎市	人材育成計画策定
4	(株)日向屋	門川町	人材育成計画策定
5	(株)サニー・シーリング	都城市	人材育成計画作成(継続支援)
6	創宮(株)	都城市	人材育成計画作成(継続支援)

ウ フォローアップ支援事業

成長期待企業や次世代リーディング企業など、当機構の支援を受けた企業、その他、本県地域経済をけん引する意欲を持つ企業の課題解決を支援した。

(外部専門家の派遣) 4社に対して延べ24回

	企業名	内容	派遣回数
1	(株)産機サービス	管理職・管理職候補者育成に係る指導・助言	10回/10回計画

2	(株)ハニー	管理職・従業員に係る指導・助言	5回／5回計画
3	KIGURUMI.BIZ(株)	経営力強化に係る指導・助言	4回／8回計画
4	(株)山洋製作所	工場移転計画策定に係る指導・助言	5回／5回計画

エ 企業成長促進サミット2026の開催

日 時：令和8年3月9日(月)14:00～19:00

場 所：ザ・メイビア宮崎

参加者：付加価値向上チャレンジ企業、成長期待企業、次世代リーディング企業の経営者及び幹部職員等約50名

内 容：①基調講演 (九州経済産業局)

「企業成長に向けた「個を活かす組織経営改革」の推進

②グループディスカッション

「人材を企業の資本として捉える人的資本経営に向けた人材育成」

③パネルディスカッション

④交流会

⑦脱炭素社会に向けたモデル企業育成事業（事業費：14,103,804円 県）

県内製造業の脱炭素化を推進するため、脱炭素の取り組みを積極的に推進する意欲がある企業として県から選定されたモデル企業7社に対して、プロジェクトマネージャーの訪問等による省エネ診断や削減計画の策定などの伴走支援を実施した。

ア モデル企業の選定

脱炭素推進モデル企業	7社
------------	----

【脱炭素推進モデル企業一覧】

	企業名	業種	所在地
1	(株)新生工業	プラスチック製品製造業	木城町
2	創宮(株)	建設業・製造業	都城市
3	ネオフーズ竹森(株)	食料品製造業	都城市
4	吉玉精鍍(株)	金属製品製造業	延岡市
5	(株)サニー・シーリング	印刷・同関連業	都城市
6	(株)モリタ	輸送用機械器具製造業	宮崎市
7	(株)山洋製作所	輸送用機械器具製造業	宮崎市

※1～4が令和7年度、5～7が令和6年度選定

イ 企業訪問等数

7社に対して延べ43回

⑧脱炭素化技術検証支援事業（事業費：2,789,000円 県）

脱炭素に取り組む県内製造事業者に対して、設備導入に係る検証等の費用を支援した。

【脱炭素化技術検証費補助金】

補助率1/2以内（上限額150万円）

	企業名	内容	補助額
1	(株)天川	高効率空調機への更新	800,000円
2	(株)長友精巧	高効率空調機への更新	515,000円
3	(有)村田産業	LED照明の導入	1,474,000円